子育て支援

監修・執筆

小橋明子

編集・執筆

木脇奈智子

執筆

小橋拓真

川口めぐみ

中山書店

序

子育ては長い時間をかける一大事業です．未来を担う子どもを育てるためには，決して親のみでなく，親族や近隣の人々，そして社会全体の手助けが必要です．

しかし，現代の日本社会では，都市化・核家族化が進行し，近隣とのつながりが希薄になり，世代間で子育て経験を受け渡したり，子育て中の親同士が支えあう機会も少なくなってきています．親自身も自分の子どもを産む前に，小さな子どもの面倒をみたことがない親が増えてきている現状があります．

子どもは親を通じて他の子どもとのつながりを広げていきます．しかし，現代の親は親同士のつながりが薄いので，必然的に子どもも保育所や幼稚園に行かなければ他児と関わる機会が少ないのが現状です．子どもは人と人との関係で，あるいは自然のなかで育つものですが，必ずしもそのような環境は保障されなくなりました．

このような社会状況のなかで，子育てを社会が後押しする意味で「地域子育て支援拠点事業」(2008 年)が始まりました．この事業は社会的課題である「子育て不安」，「孤立する育児」，「児童虐待」などへの対策として，すべての家庭を対象とし，親同士の交流，地域の子育て情報の提供，子育てに関する相談・助言をうける場として定着してきています．

そのため現在，保育士には，保育所に入所している子どもや保護者だけではなく，地域で子育てをしている子どもや保護者に対しても，専門知識や技術を活かして支援をするという役割が求められています．

本書では，上記のような問題意識を踏まえて，子どもや保護者のおかれている現状や子育て支援サービスの実態を学ぶとともに，諸外国の子育て支援の現状についても学びます．

平成 30 年の保育所保育指針の改定に伴って，これまでの「相談援助」と「保育相談支援」は，「子育て支援」という新教科目になったことから，新カリキュラムを踏まえ，最新の情報を盛り込みながら，このたび保育士養成課程のテキストとして新たに『子育て支援』を上梓いたしました．

本書では，各章に「演習」を多く取り入れ，皆で話しあったり調べたりしながら学びを深めるように工夫しているので，アクティブラーニング形式でも活用できると考えます．

本書が皆様の学習や実践に役立ち，子どもと親の幸せにつなげていただけたら幸いです．

なお，「障害児」の「害」は「妨げになるもの，わざわい」の意味があるため，近年では，自治体の約半数が平仮名で「がい」と表記するようになっており，本書も障害の「害」を原則として平仮名の「がい」で表記しております．

末尾ではありますが，本書の刊行に際し，熱意をもってご支援くださった中山書店の佐藤貢氏，鈴木幹彦氏に，紙面を借りて深く感謝の意を表したいと思います．

令和２年５月

執筆者を代表して　**小橋明子**

目次

第1章 子育て支援とは 1

1-1 保育士が行う子育て支援の特性 3

1 保育所における子育て支援とは …… 4
2 家族を取り巻く情勢の変化 …… 12
3 保育にかかわる保護者をどう支援するか …… 18
4 保護者との相互理解と信頼関係の形成 …… 23
5 多様な家族形態と支援ニーズへの気づき …… 29
6 子ども・保護者が多様な他者とかかわる機会や場の提供 …… 34

1-2 保育士が行う子育て支援の展開 39

1 相談・助言の基本的姿勢（保護者を力づける支援） …… 40
2 保護者と子どもの状況・状態の把握（多面的なアセスメントの視点） …… 45
3 支援の計画と環境の構成 …… 52
4 支援の実践（記録，評価，カンファレンス） …… 59

5 職員間の連携と協働 …… 63

6 関係機関(者)との連携・調整，社会資源の活用 …… 71

第2章 保育士の行う子育て支援とその実際 79

2-1 子育て支援における保育者の役割 …… 80

2-2 地域における子育て支援の現状とネットワーク構築に向けて …… 88

2-3 障がいを抱えた子どもと家族への支援 …… 94

2-4 特別な配慮を要する子どもと家族への支援

① 気になる子や発達障がい児の支援 …… 105

② ひとり親家庭や外国籍家庭への支援 …… 113

2-5 虐待対応の基本的な視点 …… 122

2-6 要保護児童家庭に対する支援 …… 137

第3章 児童虐待・援助を拒む家庭(事例から学ぶ) 141

3-1 児童虐待事例から学ぶ(事例 1) …… 142

3-2 援助を拒む家庭への支援(事例 2) …… 157

第4章 諸外国の子育て支援 161

4 文化によって多様な子育て支援 …… 162

第5章 子育て支援の今後に向けて 171

5 子育て支援の現状と課題 …… 172

索引 …… 178

執筆担当者一覧

小橋明子 …… 第 1 章 1-1（1，2），第 3 章 3-1，3-2

木脇奈智子 …… 第 1 章 1-1（5），第 2 章 2-2，第 4 章

小橋拓真 …… 第 1 章 1-2（5，6），第 2 章 2-1，2-4 ②～2-6，第 5 章

川口めぐみ …… 第 1 章 1-1（3，4，6），1-2（1～4），第 2 章 2-3，2-4 ①

本書の事例にでてくる人名，施設名はすべて仮名です．実在の人物，施設とは関係がありません．

執筆者紹介

監修 / 執筆　小橋明子（こはし あきこ）

北海道立衛生学院保健婦科卒業，中央福祉学院通信課程卒業
31 年間，札幌市役所で保健婦として勤務し，その後 10 年間，札幌大谷大学短期大学部保育科（准教授）で保育士養成の教育にあたる．
担当科目：子育て支援特論，子どもの保健，乳児保育，相談援助，保育相談支援等．
現職：こども學舎
保有資格：看護師，保健師，養護教諭 1 級，介護支援専門員，社会福祉主事

編集 / 執筆　木脇奈智子（きわき なちこ）

北海道大学教育学部卒業，お茶の水女子大学大学院　家政学研究科修士課程修了，城西国際大大学院博士課程修了，博士（比較文化）
子育て支援政策と子育て現場の橋渡しをする研究を継続，北欧の家族支援を研究中．
担当科目：藤女子大保育学科で 2009 ～ 2017 年まで，子育て支援理論，子育て支援演習を担当．
現職：藤女子大学人間生活学科教授，藤女子大学大学院人間生活研究科教授

執筆　小橋拓真（こはし たくま）

九州保健福祉大学大学院（通信制）連合社会福祉学研究科博士（後期）課程修了
本別町社会福祉協議会にて保健師として地域住民による子育てサロン活動を支援，札幌市豊平区第二地域包括支援センターでは，保健師として子どもから高齢者まで対象とした総合相談業務等を行う．こども學舎にてこどもの保健や社会的養護等を担当した．
担当科目：北海道文教大学人間科学部看護学科で，在宅看護援助論Ⅰ・Ⅱ，在宅看護論実習，看護研究Ⅱを担当．
現職：北海道文教大学人間科学部看護学科

執筆　川口めぐみ（かわぐち めぐみ）

北海道大学大学院教育学院修士課程修了
札幌市内の幼稚園で幼稚園教諭として勤務後，札幌大谷大学短期大学部保育科，駒沢女子短期大学保育科等で保育者養成に携わり現在に至る．
担当科目：心理学概論（こころの形成），乳幼児心理学，カウンセリング論等．
現職：東京未来大学こども心理学部

1-1 保育士が行う子育て支援の特性

3 保育にかかわる保護者をどう支援するか

学習のねらい

1. 保育にかかわる保護者を支援するための総合的視点について学ぶ.
2. 親になる心理プロセスについて学ぶ.
3. 園と家庭が連携して子育てを支援するということはどういうことなのかを考える.

- 家族を取り巻く社会的情勢の変化に伴い，子育て家庭が求める保育ニーズも多様化している．保育所を利用している保護者のなかには，日・祝日の預かりや，仕事は休みだが，子どもを預けてゆっくりしたいという「子育て休憩」を望む声が多く聞かれる．
- 日本総研の調査(池本・立岡，2017)によると，子どものアレルギー，発達の遅れや障がい，医療的ケアが必要な子ども，虐待が疑われる子どもや貧困問題，預かり保育時間への教育的付加価値の要望などに関するニーズが増加している．
- このように多様で複雑な保育ニーズのある保護者に対し，保育士はどう支援していくべきだろう．

池本美香・立岡健二郎. 保育ニーズの将来展望と対応の在り方. JRI レビュー. 2017：3 (42). 37-65.

演習

考えてみよう！

2 歳児サクラちゃんのお母さんから，「家でトイレトレーニングをしているけど，失敗ばかりするのでイライラしてしまう．朝に失敗されると仕事もあるから早く家を出なきゃいけないのに，サクラは大泣きし始めるし，ゆっくり見てあげられない…．だから園でトイレトレーニングをしてほしい」という要望がありました．保育士として，どのような支援ができるだろう？

ヒント

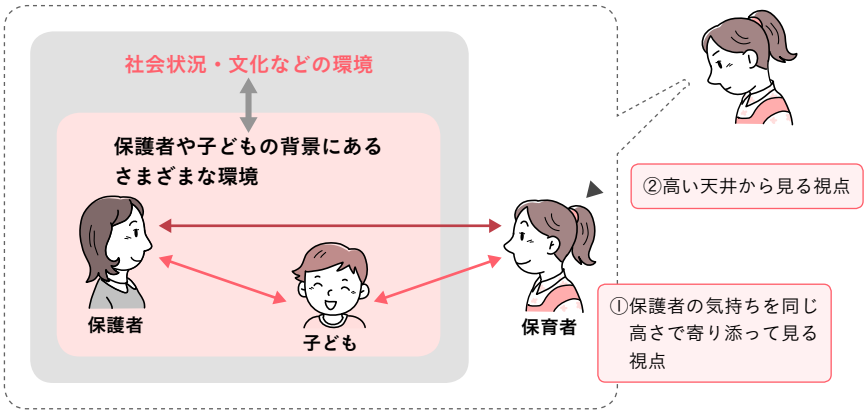
お母さんからの要望をすべて引き受けることが，お母さんと子ども，さらにはお母さんの未来のためになるでしょうか？

▶ **保育士の専門性**（参照：第 2 章 2-1 子育て支援における保育者の役割 p.80）

保護者を知り支援するための総合的視点

- 保育にかかわる保護者を「支援」するためには，保護者を「理解」する必要がある．つまり，支援は，相手を理解するところから始まる．そのときに必要なのは客観的かつ総合的な視点である(❶)．

❶ 保護者を理解し支援するための総合的視点とは



保護者の子ども観，発達観，子育て観を知る

- 保育にかかわる保護者を理解するためには，保護者が子育てや子どもの発達に関してどれだけの知識や理解があるのか，また，どのような子ども観や発達観，子育て観をもっているのかを把握することも大切である．特に，第一子を出産し初めて親になった母親のなかには，不安感や自信のなさからネガティブになる人もいる(Belsky and Kelly, 1994)．
- 情報化社会にある現代，ネット上には子育てや保育・教育方法に関する情報が溢れており，子育て経験の少ない親がそのなかから正しい情報を得るのは非常に難しい．
- **保育士は，「保護者に対する保育に関する指導」(厚生労働省，2018)を行うことのできる，最も保護者の身近にいる専門家であることを忘れてはならない**．

Belsky J and Kelly J．訳：安次嶺佳子『子供をもつと夫婦に何が起こるか』草思社，1995.

【参考】
厚生労働省編『保育所保育指針解説（平成30年3月）』フレーベル館，2018，p.17，328.

親になるという心理プロセスを知り子育てを支える

- 「親」という社会的役割を受け入れ，それをアイデンティティとして確立していくことが親になるということである．しかしながら，親になるということを受け入れられず葛藤している親は少なくない．
- 保護者自身の精神的発達課題を捉えながら，親になるという心理プロセス(❷)と照らし合わせて支援することは，「保護者の養育力の向上」や「保護者の養育する姿勢や力の発揮を支え」「保護者自身の主体性，自己決定」(厚生労働省，保育所保育指針解説，2018)を支えることになる．

❷ 親になるという心理プロセス

（Galinsky，E『The Six Stages Of Parenthood』Addison-Wesley．1987．より作成）

- 保護者の精神的課題や心理状況に寄り添い支援していくことは，子どものよりよい発達にもつながっていく．

子どもの発達を共有しながら正しい知識を伝え，子育てを支える

- 2018 年の保育所保育指針改定の要点に**「保護者が子どもの成長に気付き子育ての喜びを感じられるように努める」**という内容が明記されている（厚生労働省，2018）．

【参考】
厚生労働省編『保育所保育指針解説（平成 30 年 3 月）』フレーベル館．2018．p.8.

「食事中，食べ物でも食器でも何でも落とすからイライラする」
「最近嘘をついてくる．悪い子にならないかとても心配…」

- 子どもの発達過程を知らないと，保護者はこのようなネガティブな気持ちで子育てすることになる．モノを落とすのは知的好奇心の表れであり，モノの性質を能動的に知ろうとする行為である．嘘をつくには自分の真の感情を抑制し，意図をもって相手の感情を操作しようとする複雑な認知が必要な行為である．
- 保育者は，専門性をもって保護者の子育て不安や子どもへのネガティブな感

情を解消していくことが重要である．

- 園での子どもの様子を含めて発達過程を伝えていくことで，保護者の心のなかには「自分の子どもをみてくれている」「大切にしてくれている」という安心感が生まれる．この安心感の積み重ねが信頼を生み，時間を重ねていくことで信頼関係が形成されていくのである．

演習

話し合ってみよう！

1歳児リコちゃんのお母さんは22歳．共働きで，子育てと家事と仕事を両立させようと頑張っている．時々，「私の友達はまだ結婚もしてないし，子どももいないから，楽しそうに夜遅くまで遊んでいる．羨ましくて羨ましくて…．私も友達と昔のように遊びたいけど」と話している．保育士として，どのような支援ができるか話し合ってみよう．

園と家庭が連携し子育てを支援する

- 保育所の役割の一つに**「家庭との緊密な連携の下に，子どもの状況や発達過程を踏まえ，保育所における環境を通して，養護及び教育を一体的に行うこと」**がある（厚生労働省，2018）．

【参考】
厚生労働省編『保育所保育指針解説（平成30年3月）』フレーベル館．2018．p.14.

- 園に預けている時間だけではなく，子どもの1日の生活の流れを把握しながら，清潔で安全な環境のなかで生理的欲求が満たされ，発達に合わせた生活リズムが形成されるよう，家庭と連携していくことが大切である（❸）．そのためにも，保護者の生活状況を理解しながら個別に配慮した支援を計画することが重要である．
- 子育て支援の範囲は，保育所に子どもを預ける保護者のみならず，地域の保護者なども含む．
- 保育所保育指針第4章「地域の保護者等に対する子育て支援」においては，**「地域の実情や当該保育所の体制等を踏まえ，地域の保護者等に対して，保育所保育の専門性を生かした子育て支援を積極的に行うよう努めること」**とある（厚生労働省，2018）．地域の実情や課題に合わせた育児講座や体験講座を開催したり，園庭を開放したり体験保育や給食・おやつ・離乳食の試食会を開催するなど，子育てにつながる内容を提供することも地域に開かれた子育て支援の一貫である．

【参考】
厚生労働省編『保育所保育指針解説（平成30年3月）』フレーベル館．2018．p.339.

- このような活動が，保護者と保護者をつなげ，子どもを見守る地域へと発展していく．
- 子どもを見守る地域が形成されれば，保護を必要とする子どもの早期介入につながる可能性が高くなる．地域の住民や関連機関と丁寧な関係をつくって

❸ 園と家庭をつなげる実践例

保育室に掲示板

- 今の時期に見られる子どもの発達の姿を紹介する（たとえば，友達とトラブルが増えるのは自我の芽生え！）
- 認知・感情・人間関係などの発達についてわかりやすく紹介する
- 発達段階と生活リズムの関係について説明する（たとえば，睡眠が脳の発達と関連する！　など）

おたより

- 子どもたちの流行の遊びを紹介し，家での遊びにつながるようにする
- 人気給食メニューの紹介とつくり方を掲載する
- 子どもの多様な行動にどう対応しているか保育者のコラムを掲載する

いくことも，保育にかかわる保護者を支える重要な取り組みである．

- 地域や関連機関と関係をつくっておくことで，保育所や保育士が，保護者と地域を，保護者と関連機関を，つなげていくパイプになるのである．

◉ 引用・参考文献

- 池本美香・立岡健二郎．保育ニーズの将来展望と対応の在り方．Japan Research Institute review. 2017：3(42)．37-65.
- Belsky J・Kelly J．安次嶺佳子訳者『子供をもつと夫婦に何が起こるか』草思社．1995.
- 厚生労働省編『保育所保育指針解説（平成 30 年 3 月）』フレーベル館．2018．p.8，14，17，328，339.
- Galinsky，E『The Six Stages Of Parenthood』Addison-Wesley．1987.

4 保護者との相互理解と信頼関係の形成

学習のねらい

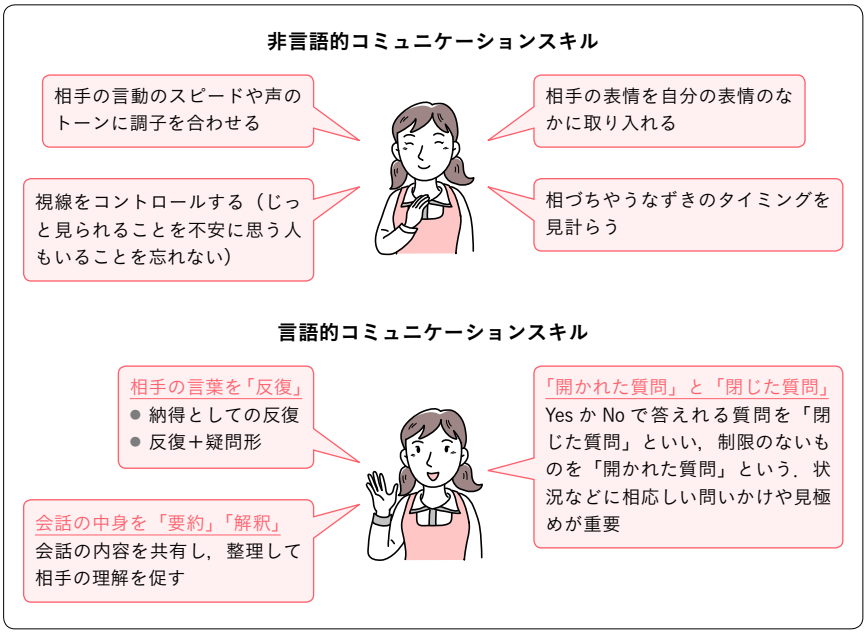
1. 信頼関係（ラポール）を形成するために必要な知識や技術を学ぶ.
2. ラポール形成につながる保育実践について考える.

- 保育者は，保護者一人ひとりと相互的なやりとりを重ねながら関係を構築していく．人と人が相互に理解し合うためには，自己の情報を開示していくことも必要である．自分のことや今感じている思い，感情を相手に開示して共有することが，関係構築の第一歩となる.
- 自分から積極的に自己開示することで，相手も同じように自分のことを話そうと思うようになる．このことを心理学では「自己開示の返報性」といい，相手に安心感を与え，会話の維持・発展や今後の関係性につながる.
- 保育者が保護者を理解しようとする姿勢は重要だが，保護者が保育者を知っていくことも，相互的な信頼関係の形成において重要である.
- 信頼はラポール（rapport）ともいう．ラポールとは，**「人と人の間にある調和と円滑さ」**を示し，相手との関係維持やよりよい関係への発展と関連している（Helen, 2005）.
- 保育において保護者とラポールを形成することは絶対条件であるが，ではそのラポールを形成するために必要なものは何だろうか.
- ラポールを形成する３つの行動には「肯定（positiveness）」，「相互的注意（mutual attentiveness）」，「調和性（coordination）」がある（Linda and Robert 1990）.
- 相手を受容して肯定し，注意を向け続けたり気遣ったりする行為は，「わたしはあなたに関心がありますよ」という思いを態度で伝えていることを示す.
- また，自分の考えと相手の考えが異なると，認知的不協和が生じやすくなる．反対に，自分と同じ考えの人との間には，この認知的不協和が少なくて済むため，安心感や親近感，類似性を感じやすい．そのため，相手の思いを理解したり共感することは，対人関係において非常に重要な要素である.
- ラポール形成につながる保護者との言語的・非言語的コミュニケーションを見てみよう（❶）.

Helen Spencer-Oatey. (Im) Politeness, Face and Perceptions of Rapport:Unpackaging their Bases and Interrelationships. Journal of Politeness Research. 2005：1（1）. 95-119.

Linda Tickle-Degnen, Robert Rosenthal. The nature of rapport and its nonverbal correlates. Psychological inguiry. 1990：1（4）. 285-93.

❶ 相互理解・ラポール形成につながる対話の工夫



- 保育所保育指針（2018 年 4 月改定）の第 5 章にもあるように，保育者は高い倫理観と職務への責任と自覚が求められる．
- これらは時間や場所などによって限定して発揮されるものではなく，日ごろの保育や日常生活のすべてを通して表れる（厚生労働省，2018）．
- 子育てを支える専門職であることを忘れず，保護者との会話内容や知り得た情報すべてに対して守秘義務を守ることが重要である．

【参考】
厚生労働省編『保育所保育指針解説（平成 30 年 3 月）』フレーベル館，2018.

第 5 章　職員の資質向上

1　職員の資質向上に関する基本的事項

（1）保育所職員に求められる専門性

子どもの最善の利益を考慮し，人権に配慮した保育を行うためには，職員一人一人の倫理観，人間性並びに保育所職員としての職務及び責任の理解と自覚が基盤となる．

各職員は，自己評価に基づく課題等を踏まえ，保育所内外の研修等を通じて，保育士・看護師・調理員・栄養士等，それぞれの職務内容に応じた専門性を高めるため，必要な知識及び技術の修得，維持及び向上に努めなければならない．

厚生労働省編『保育所保育指針解説（平成30年3月）』

- ラポールを形成するには多くの時間を必要とする保護者もいる．
- ラポールを形成するためには，**自分の相手に対する先入観や思い込みなどステレオタイプを外すことが大切である**．保護者一人ひとりの言動には，これまでの生活史や人的・物的環境，経験や学習，社会の影響などによって構築されてきた信念や意思，価値観が背景にある．この背景を理解しようとする視点をもち，丁寧な対応や意思疎通の機会を重ねていくことが重要である．
- このラポールが保護者と保育者の間に形成されたとき，保護者はさまざまな葛藤や悩み，相談を保育者に打ち明けられるようになる．
- 最後に，保護者とのラポール形成につながる保育実践の一例を取り上げる．

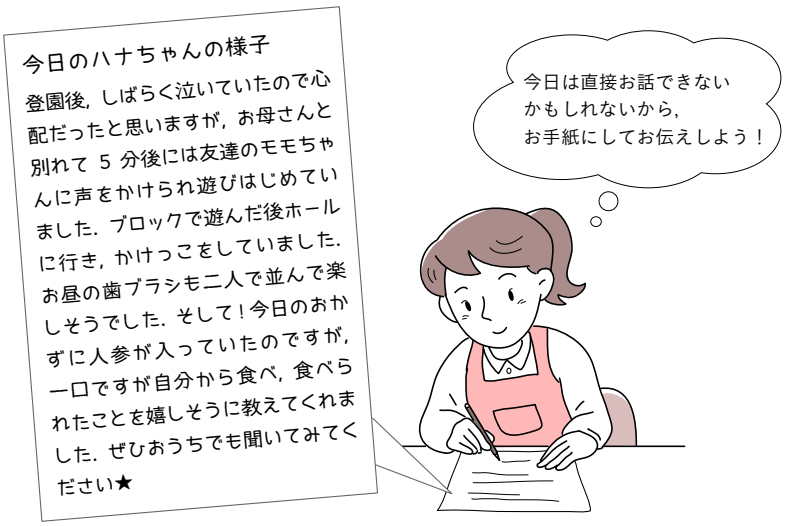
ステレオタイプ

行動や考え方が固定的，画一的であり新鮮味がないこと，紋切り型のことをいう．（デジタル大辞典より）

▶ **相談や助言の際に必要な基本姿勢**（参照：第1章 1-2 1 相談・助言の基本的姿勢 p.40）

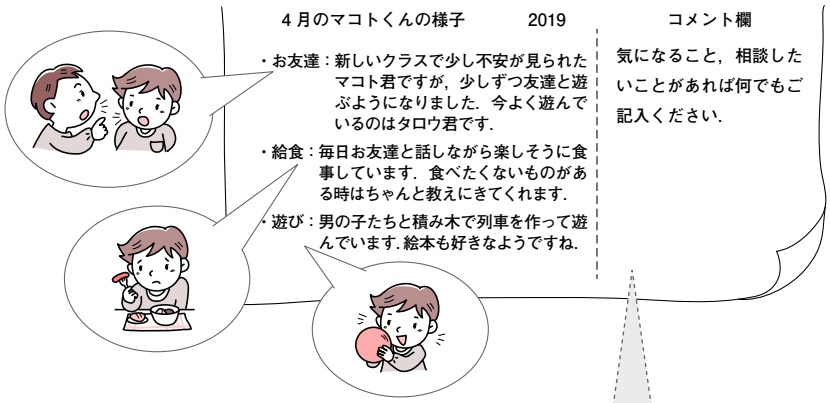
例1 園での子どもの様子を共有する

第一子のお子さんである場合は特に，園で一人になっていないか，先生はわが子を見てくれているか，友達と遊べているか，いろいろと心配や不安が募る．この思いにしっかりと寄り添いながら，園での様子を伝え，共有し，ともに同じ感情を経験することで，保護者のなかに安心が生まれ，不安が軽減していく．



例2 相互的なやりとりのきっかけを意図的につくる

保育者と積極的にコミュニケーションをとる保護者ばかりではない．やりとりのきっかけを意図的につくっておけば，ふとしたときにやりとりが生まれることもある．



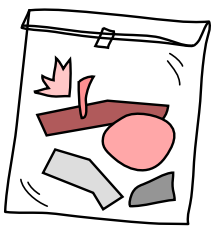
このように，気軽に思いを伝えられるコメント欄を用意しておけば，子どもの家での様子のみならず，子どもの悩み，保護者自身の悩みも書かれることがある．園や子どもに興味を示さなかった保護者から突然コメントが寄せられることもあり，やりとりのきっかけにつながる！

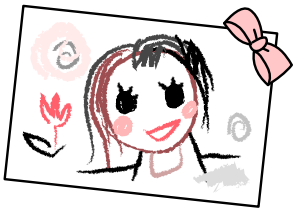
毎月のクラス便りとともに一人ひとりの様子をお伝えし，いつでもコメントできるよう，保護者の記入欄を設ける．コメントが出てきたら，それに対して改めてお手紙を書いてお返しする．

例3 子どもの「初めて」や園での活動をおみやげにする

家に持ち帰ってもすぐに捨てる保護者もいるが，子どもが「初めて」切った画用紙や折った折り紙，空箱でつくった車をおみやげに渡すと，それをもとに子どもとのコミュニケーションが始まる．

子どもが初めて園で切った折り紙をラッピングしたり，園で描いたお母さんの絵にリボンを付けて渡すという一工夫を加えるだけでも特別感が増します．





事例

発達に心配のあるヤマトくんのお母さんとのラポール形成

年少組に入園してきた一人っ子のヤマトくんは，思い通りにならないと友達を叩いたり顔を引っ掻いたりと攻撃行動が多く，感情をコントロールできないでいた．

ヤマトくんは，入園式直前に入園希望が出されたお子さんだった．入園前の三者面談(保護者・子ども・保育者)では，発達などに問題はないということだった．母親は必要最低限の会話しかせず，入園後もクラスの母親とつながろうとしなかった．そのようななか，ヤマトくんと友達とのトラブルが増え，母親への報告回数も増えてきていた．保育者は，①ヤマトくんのトラブルについて否定的な言い方で報告せず，②伝える前後には世間話やヤマトくんの園での楽しそうな姿を交えた内容を取り入れ，③こちらからの一方的な会話にならないようやりとりを意識した．会話の最後には，④子育ての大変さや園に預けることへの不安について共感的な姿勢を意識した．次第に母親は，「ヤマトが叩いてしまった相手の保護者にお詫びの電話をしたほうがいいか」と確認するようになった．保育者は，保護者同士の関係が保てるよう，園が責任をもって対応することを伝えた．また，保育園では，「友達のものが欲しくなって，お友達を叩きたくなったら先生を呼んでね」とヤマトくんに伝えていることや，叩いてしまった後は「こういう時は何て言えばよかったかな？」「そう！　貸してだったね！　次はやってみようね」とヤマトくんと一緒に取り組んでいることや学ぼうとしていることを共有するようにした．

このようなやりとりを通して，母親は「実は，1歳半健診で発達障がいを疑われ，要観察といわれた．このことを言ったら入園させてもらえないかもしれないと思い言えずにいた」と打ち明けてくれた．

もし母親にヤマトくんの園でのトラブルを否定的に伝えていたとしたら，母親の1年半抱えてきた不安をさらに増長していたかもしれず，これまでの育児に否定感を抱かせることになっていたかもしれない．

保育者は，常に母親の味方であるという姿勢を保ち，何気ない会話のなかに発話を切り出せるきっかけを与え，保育者として保育に責任をもった対応が，ヤマトくんの母親とのラポールを形成し，事実を話す気持ちにもっていけたのかもしれない．

演習

考えてみよう！

「モンスターペアレント」「ヘリコプターペアレント」とはどのような保護者だと思うかまとめてみよう．そしてそれがステレオタイプであることを認識しよう．また，「モンスターペアレント」「ヘリコプターペアレント」と呼ばれる保護者の心には，どのような思いや背景が隠れている可能性があるか考えてみよう．

モンスターペアレント

無理難題なことを教育や保育に執拗に要求してくる親のことを示すが，親の要求を的確に把握・実現できない保育現場がそれを親のせいにすることによって生じる場合もある．

田井康雄．教育問題の基礎にあるものについての考察（Ⅶ）．発達教育学研究．2013．1-12.

ヘリコプターペアレント

常に子どもの行動に注目し，今の状態や困っていることを把握したがり，代わりに問題を解決してしまう親のこと．

原清治．若年就労問題とマイノリティの教育開発に関する比較社会学的研究：誰が労働弱者となるのか？．2007.

引用・参考文献

- Helen Spencer-Oatey．(Im)Politeness，Face and Perceptions of Rapport:Unpackaging their Bases and Interrelationships．Journal of Politeness Research．2005：1(1)．95-119.
- Linda Tickle-Degnen and Robert Rosenthal．The nature of rapport and its nonverbal correlates. Psychological inguiry．1990：1(4)．285-93.
- 厚生労働省編『保育所保育指針解説(平成 30 年 3 月)』フレーベル館．2018.
- 田井康雄．教育問題の基礎にあるものについての考察(Ⅶ)．発達教育学研究．2013．1-12．http://repo.kyoto-wu.ac.jp/dspace/bitstream/11173/200/1/0090_007_001.pdf
- 原清治．若年就労問題とマイノリティの教育開発に関する比較社会学的研究：誰が労働弱者となるのか？．2007．http://www.lib.kobe-u.ac.jp/repository/thesis/d1/D1004160.pdf